

社会性報告

荒川化学グループは、事業を通じて社会へ貢献していくことを企業の使命と捉え、また、社会における当社の役割を常に意識しながら、今後も様々なステークホルダーとの関わりを大切にしていきます。

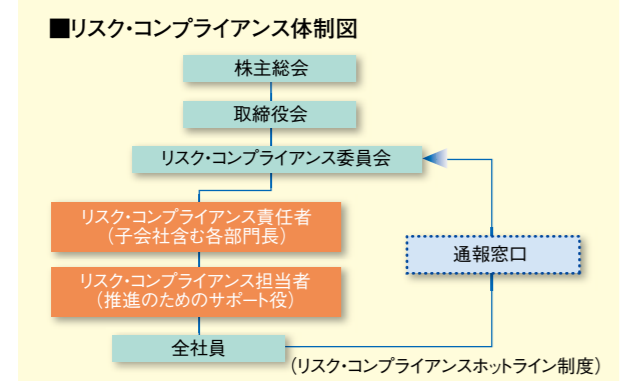
信頼される企業を目指して

法令・社会規範を守り、社会から信頼される企業として評価いただけるよう努めています。

■リスク・コンプライアンス体制

当社は、リスク・コンプライアンス委員会を、取締役会の下部組織として設置しています。同委員会は、当社グループのリスク管理を適正におこない、リスクの発生を未然に防止する体制と万一リスクが顕在化した場合に適切な対応をおこなう体制を構築することおよびコンプライアンスを確保することを目的としています。同委員会の活動により、当社グループの事業目的の達成と持続的安定的な発展をより確実なものとしします。

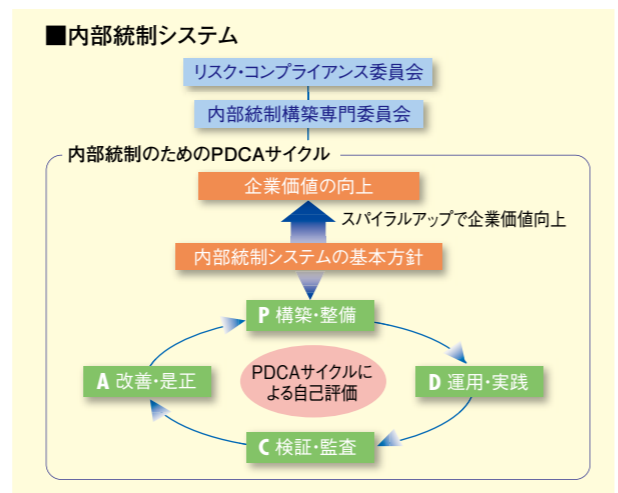
併せて「コンプライアンス綱領」、「コンプライアンス倫理綱領『迷ったら』」および「コンプライアンス行動マニュアル」を制定、「リスク・コンプライアンスホットライン」を開設しています。



■内部統制システム

内部統制システムの基本方針に基づき、経営目標を有効・効率的かつ適正に達成するため、コーポレート・ガバナンスが有効に機能する業務の適正を確保する体制を整備、構築しています。さらに、PDCAサイクルにより継続的に内部統制システムの有効性を評価するとともに改善に努め、さらなる充実を図っています。

当社は、財務報告に関わる内部統制報告制度に対応するため、リスク・コンプライアンス委員会の下部組織として、内部統制構築専門委員会を設置し、財務報告の適正性を確保するために必要な体制の構築・整備、内部統制の評価・改善をおこなっています。



内部統制システムの基本方針

当社は、経営環境の変化に適切且つ速やかに対応するため、意思決定の迅速化、透明性、公平性の維持を最優先することを念頭に置くとともに、コーポレート・ガバナンスが有効に機能することを目的として、会社法に基づく体制及び金融商品取引法が求める財務報告の適正性を確保するための体制として、以下の各体制を定めております。

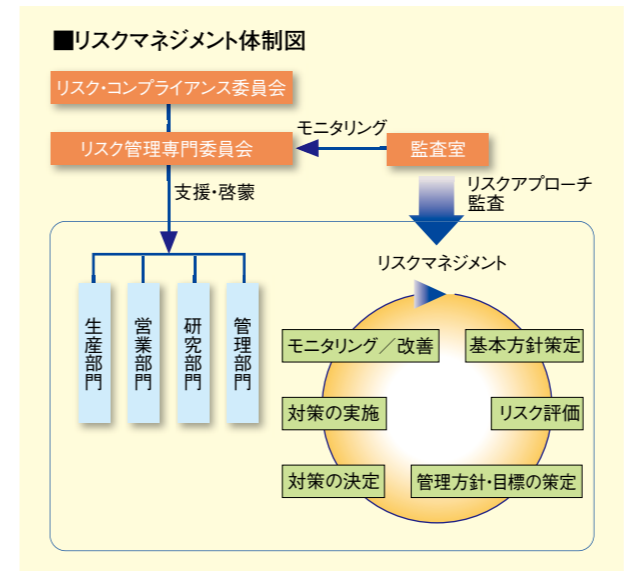
1. 取締役の職務の執行に関する情報の保存及び管理に関する体制
2. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
3. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
4. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
5. 株式会社並びにその親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
7. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
8. 監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
9. 財務報告の適正性を確保するための体制

リスク管理

当社事業の推進を阻害するさまざまなリスクの発生を未然に防止するとともに、リスクが顕在化した場合、損害の拡大防止や当社の社会的信用の維持を図るため、リスク・コンプライアンス委員会の下部組織としてリスク管理専門委員会を設置し、全社的なリスク管理体制を充実させています。

リスクの発生を未然に防止するために、当社の業務執行に係るリスクを生産、営業、研究、管理部門などの側面から多角的に検討した上で、必要な規定を策定し全社的に遵守する体制を構築し、その有効性を継続的に評価しています。

リスクが顕在化した場合に備え、損害の拡大防止、当社の社会的信用の維持を図るために、危機対応組織の編成などについて規定した危機管理規定、危機管理マニュアルを策定し、危機に際しては同規定に基づき適切に対処します。



■制度や取り組みなど

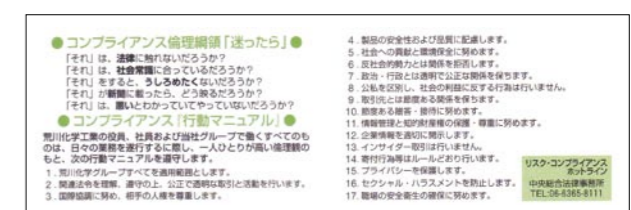
リスク・コンプライアンスホットライン制度

上司の不正や組織構造上の問題で個別には解決できないリスクやコンプライアンスに関わる問題が発生し、通常ルートでは解決が難しい場合の非常手段として、リスク・コンプライアンスホットラインを開設しています。女性社員もためらうことなく通報できるように、通報窓口は女性窓口を含め、社内5ヵ所および社外の弁護士事務所に設けています。通報者は、通報したことにより不利にならないよう保護します。

リスク・コンプライアンス体制の維持・推進

当社グループでは全従業員にコンプライアンス意識を浸透させるため、さまざまな活動をおこなっています。事例を一部紹介します。

(1)当社グループの全従業員は、経営理念や行動規範などを記載した携帯カードを常に所持し、コンプライアンスを意識した行動のよりどころとしています。



携帯カード

(2)各部門は、定期的に自部門のリスク・コンプライアンス体制を評価するとともにその改善に努めています。リスク・コンプライアンス委員会は各部門の優れた取り組みをグループ全体に水平展開します。

(3)月刊の社内報に「コンプライアンスコーナー」を設け、コンプライアンスに関する問題を分かりやすく解説し、コンプライアンス意識の向上を図っています。

(4)定期的にコンプライアンス意識調査を行い、コンプライアンス意識の浸透や取り組みを評価し、その改善に活かしています。

VOICE

製品納入リスクを減らすために

「リスク管理専門委員会」とは、常務直轄のリスク・コンプライアンス推進体制の下、全部門にまたがる委員会組織です。製造業である当社にとり災害・品質事故などで製品の納入に支障を生じることが最大のリスクであり、とりわけ品質問題で信用を失うことは避けなくてはなりません。開発に集中するあまり、品質がおざなりにならないようISO9001のシステム改変を手掛けてきました。その成果が表れてくることを楽しみにしています。



開発推進部 品質管理グループ 佐野 義和